

5月19日『洪水対応演習』を実施します

“地域の的確な判断・行動につながる情報が確実に伝わるために”

国土交通省東北地方整備局では、例年「5月の水防月間」に東北管内12河川・19ダム（管理・建設）の施設を対象として「洪水対応演習」を実施しています。

本格的な出水期を前に洪水予報や水防警報、ダム放流情報等の防災情報を関係機関に迅速かつ的確に伝達し、地域の防災活動の的確な判断・行動につながる情報を確実に伝え、洪水時の防災体制に万全を期するため全国一斉に実施しているものです。

国で管理する河川・ダムのほか、県管理の河川やダム、発電用ダム等についても、県・市町村等関係機関の協力のもと実施します。

◆ 実施概要

日時：平成22年5月19日（水）9：00～17：00

※ただし、当日、洪水や地震の発生等により、中止となる場合があります。

TV会議システムを活用した主要訓練（過去の模様は別紙-1参照）は、13：30～16：00頃を予定

場所：東北地方整備局内（2階 災害対策室）

各事務所は事務所内

◆ 演習のポイント

- ① 洪水予報・水防警報指定河川における迅速かつ的確な発表訓練
- ② ホットライン（電話）による事務所長と市町村長との情報共有訓練
- ③ TV会議システムを活用した整備局と事務所間の情報交換訓練
- ④ 河川巡視点検・報告システム等各種防災システムによる訓練

<記者発表先：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会>

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局
仙台市青葉区二日町9-15（TEL：022-225-2171）
水災害予報企画官 山本 晶（内線：3521）
洪水予測専門官 菊地 裕光（内線：3522）

昨年の洪水対応演習の様様



TV会議システムを活用した情報交換訓練状況



CCTV画像の画像伝送訓練状況

